



2017-2018 年度 会長: 立花 徳久 会長エレクト: 三田 望 幹事: 阿部 一郎
例会日: 毎週火曜日 12:30~13:30 会場: ホテル花城 0198-22-2333
事務局: 〒025-0075 岩手県花巻市花城町 10-27 花巻商工会議所内 0198-41-1133
Mail: hrc@hanamaki-cci.or.jp URL: <http://www.hanamaki-rc.com>

2017-2018 年度 RI テーマ

4 月 RI 月間テーマ「母子の健康月間」

第 3090 回例会/No.40 2018 年 4 月 17 日

◆例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ローターソング斉唱
3. 会長の時間
4. 慶祝
5. ゲストスピーチ スターブリッチ岩手 社長 茂庭 裕之 様
担当 会場監督 佐々木 史昭 君
6. 幹事および委員会報告
7. 出席報告
8. ニコニコボックス
9. 閉会点鐘

◆幹事報告

・ハイライトよねやま Vol.217[(公財)ローター米山記念奨学会]

◆第 3089 (4/10) 例会の概要

■副会長の時間「36 回/49 回」鹿討 康弘 君



こんにちは。本日は立花会長が欠席ということで 4 度目の「副会長の時間」を務めさせて頂きます。

先月は「水と衛生月間」ということで「水と衛生」についてお話をさせていただきました。4 月はローターの 6 つの重点分野の一つ「母子の健康月間」です。この機会に会員専用ホームページ My ROTARY で「母子の健康月間」について調べてみました。

現在、栄養失調や不十分な医療・衛生のために亡くなる 5 歳未満の子供の数は、世界で 700 万人と推定されています。このような子供たちの命を救うために、ローターは母親や子供たちが基本的な医療を利用できるように支援しています。2014 年 10 月 RI 理事会は、4 月を重点分野:「母子の健康月間」と定め、「5 歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減」「妊婦の死亡率と罹患率の削減」「より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供」「保険従事者を対象とした研修」「保険ケアの提供」「母子の健康に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金の支援」を強調して取り組む月間としています。

具体的な活動としては、5 歳未満の子供の主な死亡要因である「はしか」「マラリア」「肺炎」「エイズ」「下痢疾患」に対して予防ワクチンや抗生物質の提供、汚染水による下痢疾患によって栄養失調が悪化するため、井戸を掘ったり、雨水貯蔵システムの設置やそれら設備を維持する方法の指導などに努めています。また、母親の健康を向上させるための、移動診療所では、子供たちへのエイズ感染の予防方法、母乳の与え方、健康管理の方法などを学びます。

このような話を聞くと私達は「よその国」「遠いところ」の話で、自分たちには関係のないことだと聞き流してしまいます。しかし、形は違いますが、この日本でも幼い子供の命が脅かされている現実があります。虐待、育児放棄、貧困による健康問題などです。

2 年ほど前のデータになりますが、国内では 3 日に一人が児童虐待で命を亡くしています。そしてもっと衝撃的なのはその半数は親御さんも一緒に命を絶たれている事実です。育てられない、この苦しい環境から脱してあげさせたいと最後の手段として自死を選択しています。このような事にも象徴されるように、子供に十分な教育を受けさせようとか、将来を見据えて留学させようとか、習い事をさせようとか、そういったこと以前に、十分な愛情や最低限の生活をする事も困難な家庭が増えていきます。

話を虐待に戻すと、虐待を行っている家庭の状況を調査すると 1 位がひとり親家庭、2 位は経済的困窮、3 位は孤立となっています。ダブルワークで深夜まで働いたり、週 7 日間休みなく働いて友達付き合いも、親戚付き合いもできなくて助けを呼べない。

そして怒りや不満の矛先が、幼い子供に向かうのだと言います。

花巻ローターの「ぬくまる食堂」は 5 月から本格オープン致します。予防可能な原因で母と子どもが命を脅かす事のないように、私たち花巻ローターの「ぬくまる食堂」が子ども達の SOS を見つけられる居場所になれば良いと考えています。

話は一気に変わります。先日の RLI 研修は主に基本的なローターの学びの場であり、他クラブとの情報共有の機会の場でもありました。思った事があります。クラブの会員の減少、会員増強、出席率低下など、どこのクラブも同じような悩みに直面しておりました。そこでも「ぬくまる食堂」の立ち上げや、短期長期留学生、米山奨学生受入をはじめとする国際交流、情報発信として会報やホームページ、フェイスブックなど最近の花巻ローターの取り組みに話題が集中しました。私は喜びや誇らしさよりも疑問が生じました。そこで、生意気を承知で以下のことを申し上げました。なぜなら、色々と出来ない理由を並べ立て、人任せ、事務局任せの消極的な発言に癖癖していたからです。大先輩の皆様方に失礼ながらと前置きしたうえで、『RC は経営者の集まりであり、異業種の集団。大方の方は「なりたくてなった経営者」ではないか? 普段は従業員に「積極的に」とか「もっと前向きに」とか偉そうに実践行動を促している立場でありながら、RC 会員の枠に入ると、いきなり消極的な言動になるのは、私には理解できない。私は特別な事をしているつもりは一切ない。むしろ経営者の立場なら当然の行動と思っている。さらに言うなら「ぬくまる食堂」に関しては RC の精神に敬意を払いながらも自分のやりたいことに RC を利用していると言った方が正しいかもしれない。私は幼い頃から夢にまでみた「経営者」になった以上、全力を尽くすのは当たり前だと思っている。そうして初めて経営者であり続ける資格を得られると思っている』と(穏やかに)言いました。あとで三田さんにそのことを報告したら、「少し言い過ぎだ」と叱られました。反省します。以上で副会長の時間を終わります。



■花巻北高等学校 校長 菅野 慎一様 挨拶

みなさん、こんにちは。4 月 1 日より花巻北高校でお世話になっております校長の菅野慎一と申します。高田高校の校長から異動して参りました。どうぞ、宜しくお願い致します。

いつも、花巻 RC の皆様にはお世話になっております。今回は本校 3 年生の佐々木陽香さんの短期オーストラリア研修の報告のため参りました。そして、夏には小田島碧海さんのフランス留学でもお世話になるかと思います。高校生の果敢な時期に異文化に触れるという事は非常に大きな意味がありますし、戻ってからの本人達の変容にも目に見張るものがあります。これから、地域や日本を引っ張る人材になるのではないかと期待しておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

私は日本史の教員で長く歴史を教えてきました。高田高校も花巻市に習いましてアメリカのカリフォルニアにありますエルニド高校と交流を始めました。その子供達が交流を経て大きく変わって戻ってくる姿を見て、改めて高校生は大きな力を持っているなと思っております。このような機会を利用して、これからも花巻北高校から生徒たちを送り出したいなと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

■短期青少年交換生 佐々木 陽香さん 挨拶



私は約 1 週間という短い期間でしたが、有意義な時間をオーストラリアで過ごしてきました。シドニーの名所をたくさん巡りましたが、一番の思い出はホストファミリーとのサイクリングです。~中略~ 今回の研修はひとつひとつが全て新鮮な出来ごとでした。ホームステイ等で生の英語と接し、自分の英語のレベルはまだまだと実感しました。たくさんの皆様方に支えられ今回の研修に参加出来たことをうれしく思います。そして将来にも役立てていきたいと思っております。ありがとうございました。

■ALT スティーブン・クロフト様 ご挨拶



みなさん、こんにちは。昨年、アメリカのカリフォルニアから来ました。今年は本当に楽しく良かったです。史昭さん、本当にありがとうございます。これから宜しくお願いします。

■米山奨学金贈呈 奨学生 コウ・シヘイさん



みなさん、こんにちは。先週、台湾へ帰り、家族と1週間過ごしました。家族に日本での生活を報告し、ふるさとのニュースも聞きました。丁度、台湾のお盆の時期でしたので先祖を祀り、お盆の料理を食べました。とても賑やかでした。お土産に「味付けたまご」をもってきました。

どうぞ食べてみて下さい。ありがとうございました。

◆会員卓話 浅沼 幸二 君「この頃の雑感」



みなさん、こんにちは。この頃の雑感という事で、お話をさせていただきます。

4月に入りまして花巻工業クラブと花巻商工会議所と起業化支援センターで行っております「フレッシュマンセミナー」がありました。新しく入社した子供達に教育する場ではありますが、その先生とお会いして暫くお話をしましたが、「最近の子供達は日本茶の入れ方を知らないんですよ」と仰っていました。お茶を出してと頼むと「ペットボトルはどこに置いてありますか」と聞く子がいる。家で急須にお茶葉を入れてお湯を注いでお茶を出すという行為がない。御爺ちゃん、お婆ちゃんのいる家庭であれば見る機会もあるでしょうが、お茶、コーヒーはペットボトル、缶に入っているという認識しかない。だから、50代の先輩たちが驚愕するという実態があるという話を頂きました。

その子供達がお辞儀の角度から名刺を出す作法、お茶の出し方を男女一緒に習う訳ですが、私たちが若い頃はこんな下らない事としてふて腐れた態度で習う子供もおりましたが、今の若い子供達は押し並べて言う事を素直に聞き入れます。本当に大人しく礼儀正しそうに見えます。しかし、次の日には来ない生徒がいたり、会社に一日だけ出勤して来なくなり、母親から出勤したくないということなのでという連絡が入ることもあるそうです。これからの日本の育成はどうなるだろうかというお話のあと、大谷翔平が勝利投手になったお話になりまして、同じ若者でも輝く子と輝けない子との格差がものすごく大きくなっている様な気がするということでした。目的をもって生きていく子がいる一方で、自分探しと言ってただただ逃げている子が多いという話を聞きました。

何故、そうなるのだろうかと思っていたところ、今朝の花巻工業クラブ朝例会で陸上自衛隊岩手駐屯地 1等陸佐の野口さんから「日本では車に日本国旗のステッカーを張っていると右翼と思われる。ところが、英国ではミニクーパーの屋根にユニオンジャックのペイントをしている車がたくさん走っている。自国の国旗を自分の車の屋根にペインティングするということは、自分の国は素晴らしい、誇らしいと思い、自国で作られた車に誇りを持っている。それに対し自国の国旗を車にペインティングすると右翼と思われる日本の国民性へ疑問があるわけです」とのお話がありました。

そこで、教育の原点は何から始まるのかと考える時、やっぱり愛国心、国を思う気持ち、大切に思う気持ち、これを植え付けてからでないと教育のスタートには至らないのではないかと痛感しました。

野口さんのお話の中で決定という言葉は全く出て来ません。決心という言葉が出てきます。トップリーダーが決定事項を皆様に通達するのではなく、決心をして物事に当たる。命がけであるという表れだと思います。ですから、日本の教育、メディアをきっちりコントロールしないとおかしい方向へ行くのではないかと思います。

もうひとつ思うことは、新聞が売れなくなっています。若い人は新聞を読まなくなっており、スマホで情報を仕入れています。スマホは自分がクリックした記事に関連したものだけがAI機能で表示されるわけです。興味の無いものはスマホに出で来ない訳です。

新聞は1ページから最後のテレビ番組まで見ると季節を感じる記事があったり、心温まる記事があったりします。刺激を新聞から学ぶという教育も必要と思います。

私が東和中学2年の時、3年生が盛岡一高に合格し大騒動になったことがありました。彼が言うには新聞2紙を隅々まで読んで、解らない漢字は辞書を引いて頭に入れる作業を繰り返すことで盛岡

一高に合格したとのことでした。ところが、現在はスマホでニュースを見て漢字が解らなければクリックすると読み方ができます。これでは作業、工程がないため忘れてしまいます。私も原稿を作成するとき同じような状況になっております。

先程、花巻東高の入学式が話題となりました。最後に30数名の野球部の学生が入場してきましたが、彼らは全員同じクラスで担任を受持つのは菊池雄星が甲子園に出場した時のキャプテン川村悠真君であります。公立高校では出来ない凄いシステムを作ったなと思いました。花巻東高校1年生の挨拶を初めとした礼儀正しさ、入学式に駐車場へ車を誘導する野球部員の挨拶、行動の素晴らしさ、花巻、岩手、日本を代表する高校と思いました。このような環境の中から、大谷翔平、菊池雄星が誕生したのかなと思いました。

もう一つ気にかかることは、相撲の話題であります。やはり、相撲は神事でしょうか。土俵に女性が上がるのはアウトでしょうか。非常に複雑な問題です。～一部中略・概要のみ～

八角理事長のお詫びの会見で若い行司が慌てて対応してしまいましたとの説明がありました。若い行司としては精一杯の行動であり、やむを得ない行動であったと寛大な記事を掲載する新聞社が一社もありませんでした。若い行司が途中で辞めて挫折するのではないかと心配しております。やはり、寛大な気持ちで見守れるような日本人づくりをして行ければ良いなと思っております。これで本日の卓話を終了させていただきます。ありがとうございました。

◆出席報告

31人中 11人出席
出席率 45.8% 前回修正 66.6%

◇メーキング

4/5(木)北上RC例会 佐々木史昭 君

4/6(金)ホッツスプリング市花巻市姉妹都市提携25周年
記念事業実行委員会 立花 徳久 君



■ニコニコBox

<阿部 一郎 君> 佐々木陽香さん、オーストラリアを満喫してきましたか？この経験を今後に生かして下さい。菅野校長先生、クロフトスティーブンさん、忙しい折、花巻RCの例会に参加頂きありがとうございます。コウ・シヘイさん、台湾への帰省楽しかったですか？おみやげもありがとうございます。今年は就職活動の年です。頑張ってください。

<鹿討 康弘 君> コウ・シヘイさん、花巻北高等学校菅野慎一校長、ALTスティーブン・クロフトさん、短期青少年交換留学生佐々木陽香さん、ようこそいらっしゃいました。先ほどアポなしでIBC（岩手放送）が会社に来たので「ぬくまる食堂」の取材かと「出掛けに困ったなあ～」と勝手に喜んでいましたが、結局上田市長の特別番組のスポンサー募集でした。悔しいので「ぬくまる」のチラシを渡して、取材をお願いしました。

<佐々木 史昭 君> 本日は花巻北高の菅野校長先生、佐々木陽香さん、ALT教師のスティーブン・クロフトさん、そして黄 思萍さんの例会参加、心より歓迎申し上げます。浅沼さんのこのごろの雑感も短くなってしまいましたが、濃い内容でありありがとうございました。来客があり、中途退席します。

第3089回例会のメニュー

『天重』



◆今後のプログラム

4/24(火) 菊の会合同観桜会 場所：新亀家 18:00～

5/1(火) 休会(定款第6条 GW)

5/8(火) 地区大会報告

5/15(火) 会員卓話 or ゲストスピーチ 担当 伊藤 誠一郎君

クラブ会報委員会

委員長:藤田 勝敏(今回担当)

AD:橋川 秀治 鹿討 康弘